

01 教会ニュース

まことの安息を得る教会

いのちのみことばと驚くべき神の力あるわざが現れる教会に導かれて、永遠のいのちとまことの幸せの主人公になった万民中央教会の外国人聖徒たちの話。

02 いのちのみことば

善悪の知識の木を生えさせた摂理

神がエデンの園に善悪の知識の木を生えさせたのは、人が人間耕作を受けて相対性を体験し、まことの幸せを味わうことを望んでおられたからだ。

03 企画特集

私たちに下さった神様の祝福

信仰によって夢をかえした、突然の事故でもすべてを働かせて益としてくださる愛を悟ったなど、日々の暮らしに満ちている主の恵み。
支教会3月スケジュール

04 証し

「みことばと神の力で変えられる万民～」

聖潔の福音で変えられて神の力を体験したモルドバのアレクサンデル・タバヌ兄弟と、視力が回復して耳石症がいやされた韓国のベク・ジョンシム勸士の証し。

万民ニュース

第172号 2017. 2. 26.
MANMIN NEWS
TEL: 82-2-818-7063
www.manmin.org

「新しく生まれた所、韓国は信仰の故郷です」 他国で幸せを見つけた海外教区、中国教区、主の愛宣教会の聖徒たち



故国を離れて不慣れな地、韓国に来て、文化の違い、病気、財政問題などで自分では手に余る日々を送っている外国人が多い。しかし、万民中央教会に伝道されて来た人々は聖潔の福音と神の力で人生の問題が解決され、まことの安息と幸せを得ている。

初代教会のような愛で一つになっている海外教区

外国人聖徒の集まりである海外教区には、現在10か国から来た多様な階層の人々が出席している。フランス語圏、英語・日本語・スペイン語圏、東南アジア圏、ベトナム語圏、モンゴル語圏、ロシア語圏と計六つの区域があり、各言語圏出身の聖徒が区域長として使命を果たしている。彼らは主の恵みのうちに韓国語を短期間で覚え、職場でも認められているし、聖徒訪問にも同行して通訳として仕えている。

聖潔の福音を通して善と愛を学んでいるので、コミュニケーションの問題、文化の違い、姑と嫁の葛藤などで離婚率が高い国際結婚家庭も、伝道されて仲睦まじい家庭になった。ベトナム区域長リュウ執事(33歳)は「外国生活ですが、主にあってできないことがないから幸せです。区域もリバイバルして、去年は優秀区域長賞をいただいたし、主人の事業所にも祝福があふれています。説教を通訳するために翻訳しながら視力も良くなりました」と語った。

また、国籍と人種は違うが、主にあって牧者の愛を感じているので、互いに分け合って顧みて施しをするなど、初代教会のような愛で一つになっている。彼らは時が来れば自国に帰って福音を伝える夢とビジョンを持っている。

祈りに答えられて天国を激しく攻めて行く中国教区

中国教区は韓国系中国人で構成された1教区と、漢民族で構成された2教区に分かれている。賛美チームとリズムチームを作って、集まりの時、プレ賛美と特別賛美を担当している。病気の身と痛んだ心で疲れてつらい日々を送っていた彼らが、万民中央教会に来て多くの病気が一気にいやされ、いろいろな問題が解決された。その後は毎日に希望があふれている。キム・ウォルスン執事(80歳)は黄斑変成による視力低下と緑内障が、キム・ヨンオク執事(78歳)は乳がんが、キム・チュニル執事(55歳)は慢性的な喘息が、キム・スンジャ執事(68歳)は胃がん手術の後遺症が、イ・ミンファ執事(60歳)は脊椎圧迫骨折が、

チャン・ヨンスク勸士(52歳)は胸のしこりと貧血が、キム・イルファ執事(49歳)は心臓疾患とうつ病、対人恐怖症がいやされるなど、証しが絶えない。

ウォン・チャンスン勸士(63歳)は「初めて教会に来た日、講壇からの堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けて、目の病気と椎間板ヘルニアがいやされました。その後まぶたも二重になったし、視力が上がって小さい字もよく見えます」と証して神に栄光を帰した。

中国教区の聖徒は自分と同じ境遇の人々を顧みて、福音宣教と使命を果たすことに努め、教区が日増しにリバイバルしている。

死線を越えてまことの安息と幸せを見つけた主の愛宣教会

北朝鮮から来た人々は飢えから逃れようと故郷を離れて韓国に定着するまで、命をかける危険を冒さなければならなかったし、愛する家族を失う痛みを体験もした。政府の財政支援を受けているとはいえ、入国ブローカーに多くの手数料を払わなければならない、就職しても適応が難しいのが現実だ。それだけでなく、洗脳教育と金日成神格化で目に見えない神を信じにくい思考を持っている。



しかし、万民中央教会の主の愛宣教会の会員は堂会長イ・ジェロク牧師の祈りで脳梗塞、白内障、関節炎などの病気や不安障害、うつ病など深い心の傷までいやされている。また、持続的で細やかな施しで安定した生活しながら信仰が心に植えつけられ、主日を守って天国を望む、安らかで幸せな日々を送っている。



善悪の知識の木を生えさせた摂理



堂会長イ・ジェロク牧師

「神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。神である主は、人に命じて仰せられた。『あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。』」
(創世記2:15-17)

神の大なる愛と深くて妙なる人間耕作の摂理を知らなければ「神様はなぜ善悪の知識の木を生えさせて、人を滅びの道に向かうようになさったのですか？」と聞くこともあるだろう。では、神がわざとそんな木を置いて、人が罪を犯すようになさったのだろうか？ 決してそうではない。愛なる神がエデンの園に善悪の知識の木を生えさせた理由は何だろうか？

1. 最初の人アダムに下さった祝福と警告
神が創造された最初の人アダムはおとなの姿に造られたが、知識と言え

生まれただけの赤ちゃんのような状態だった。それで、豊かなエデンの園にアダムを導き入れて、神は霊の世界と真理、善、光などの多くの霊の知識と万物を支配できる知識を教えてくださいました。これでアダムは万物の霊長らしく、すべてのものを支配して従えるような資格を備えるようになった。

それで「創世記1:28」の「生めよ。ふえよ。地を満たせ。」という祝福のみことばどおり、アダムは多くの子どもを生みながらふえていき、想像できない永い歳月を万物の霊長として大きい権威を持って、何の乏しいこともなく暮らしていた。この時、神は人に自由意志を下さし、善悪の知識の木の実だけは食べてはならないと警告されたのだ。ところが、数えきれない歳月が流れると、神のみことばを心に留められず、聞き従わなくなる。

2. 善悪の知識の木の実を食べて罪を犯したアダムと人類に罪が入って来た過程

「創世記3:1」以下を読めば、最初の人アダムが罪を犯した過程が詳しく記されている。神がエデンの園に造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾だった。今日、多くの人々が蛇を鳥肌が立つように気味悪く思う理由は何だろうか？ 人類が狡猾な蛇によって死に向かうことになったので、本性的に嫌うのだ。

しかし、エデンの園の蛇は今日と違ってかわいくて、見た目も良かっただけでなく、人の歓心を買うことのできる知恵もあった。ある日、蛇が女に尋ねた。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」すると女は「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。しかし、園の中央にある木の実について、神は、『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけいからだ。』と仰せになりました。」と答える。

神は確かに「必ず死ぬ。」と仰せられたのに、エバは「死ぬといけいからだ。」と仰せになった、と言ったのだ。死ぬこともあり死なないこともあると、変えてしまったのである。蛇はこの隙を見逃さず「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神の

ようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」と言った。

このようにエバが狡猾な蛇の誘惑を受け入れると、以前とは違って目の欲と肉の欲と暮らし向きの自慢が動き出して、善悪の知識の木の実がまことに食べるのに良く、目に慕わしく、いかにも好ましく見えたのだ。結局、妻のエバはその木の実を取って食べ、夫アダムにも与えた。その結果、「必ず死ぬ。」という神のみことばが臨んで「罪から来る報酬は死」という霊の世界の法則のとおり、罪の代価を払うようになったのである(ローマ6:23)。

だからといって、罪を犯したアダムとエバが善悪の知識の木の実を食べた後、直ちに息が絶えたのではない。「必ず死ぬ。」と言われたのは、肉の死だけでなく人の主人である霊が死ぬことを意味するので、アダムと神との間の霊的な交わりが断たれたことを言う。また、罪を犯したアダムのすべての子孫まで罪人になって死に至り、この地上の万物もみな同じように呪われるようになった(創世記3:17)。

蛇はさらに大きい呪いを受けて、「創世記3:14」に「・・・腹ばいで歩き、ちりを食べなければならない」と書かれている。ここで「蛇」とは霊的に「敵である悪魔・サタン」を意味し、「ちり」とは「土地のちりで造られた人」を意味する。だから「蛇がちりを食べる」ということは、敵である悪魔・サタンが罪の中で生きていく肉の人々をえじきとして試練、患難、災いをもたらすという意味である。それで、肉にすぎない存在に墮落した人々は敵である悪魔・サタンの支配の下、あらゆる苦しみを味わって生きていくしかないのだ。

3. 神がエデンの園に善悪の知識の木を生えさせた理由

それでは、最初の人アダムが善悪の知識の木の実を食べることを知っておられたのに、神がエデンの園にそれを生えさせて置かれた理由は何だろうか？ まことの幸せを下さるためだった。

アダムは豊かなエデンの園で不幸を体験したことがなかったので、あまりにも美しく安らかで乏しいことが全くない所で生きていても、まことの幸せを感じられなかったのだ。人があることのまことの価値を悟るためには、それと反

対になることを体験して、相対性を知らなければならぬ。もし生まれてから全く病気になることがなければ、病気による苦しみと悲しみがどれほど大きいかわからないし、健康についての感謝もないだろう。飢えで苦勞したことがある人でこそ豊かな食べ物に感謝できるし、悪があつてこそ善がどれほど良く、闇があつてこそ光がどれほど尊いのかわかる。

最初の人アダムはエデンの園で死を見たことがなかったので「善悪の知識の木の実を食べれば必ず死ぬ」という意味がわからなかったのだ。しかし、その実を食べてエデンの園から追い出され、空腹と寒さと暑さ、死、別れ、罪と悪による悲しみと苦しみを経験した後には、エデンの園での日々がどれほど幸せだったかを悟って、徹底的に悔い改めた。

人がまことの幸せを感じる事ができないなら、楽に生きてもその日々は何の意味があるだろうか。たとえつかの間苦勞しても、まことの幸せを感じて生きていくなれば、それこそ価値ある人生と言えるだろう。それで、神は善悪の知識の木を生えさせて置き、相対性を悟れるように許されたのだ。

最初の人アダムが自由意志をもって罪を犯したので、人類は寒さと暑さ、病気と貧困、空腹、別れ、死など多くの苦しみを味わいながら生きていく。このようにこの地上で相対性を知って耕作の過程を経た後、やがて天国に行けば、そこで日々がどれほど良いのかを悟って、神に心から感謝しながらとこしえに喜びと楽しみのうちに生きていけるのだ。

愛する聖徒の皆さん、

善悪の知識の木を置いて人間耕作を始められた神は、世界の始まる前から人間の救いの道も備えておかれた。〈第二コリント4:17〉に「今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。」とあるように、この地上でしばらく悲しみと苦しみにあつても、その後にはこの上なく栄えある天国で永遠の幸せを味わうことができる。十字架のことばを通して人間の救いの道を悟って、信仰によってまことの救いの喜びと幸せ、永遠の天国を所有されるように、主の御名によって祈る。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ピン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

「主にあって私たちは幸せです！」

ひとり涙を流していた時に主のふところに導かれて幸せを見つけた、信仰によって夢をかなえた、神の力ある祈りで死の直前にいた大切な家族が生き返った、突然の事故の中でもすべてを働かせて益としてくださるなど、驚くべき神の愛を体験した聖徒の証しを聞いてみよう。



「うつ病がなくなり、意識不明から目を覚ましたのは奇跡でした」

ジャスワン・シン聖徒(69歳、インド・チェンナイ万民教会)



「価なしに下さった恵みで私たち夫婦は教育長賞をいただきました」

パク・カヨン執事(34歳、2大大17教区)

2014年11月、私はインド南部のチェンナイに住んでいる姉を訪問して、チェンナイ万民教会に登録するようになりました。その当時、私は1年前に亡くなった妻のことでひどく悲しんでいて、横になってから起きるたびに息をするのが大変でした。

2016年7月には病院でうつ病のため自殺の危険があると言われました。8月2日、呼吸困難がひどくなって入院しましたが、翌日集中治療室に移されました。私は長女に、韓国の万民夏のキャンプに参加しておられる担任のハン・ジョンヒ牧師先生に連絡して、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りを代わりに受けてほしいと頼みました。そして入院して六日目、ついに心臓マヒを起こして意識を失ってしまったのです。

ハン・ジョンヒ先生は堂会長先生から直接祈りを受けられない状況になると、7日の主日の早朝、私の名前を右の手の平に書いて、信仰によって堂会長先生と握手されたそうです。まさにその時、奇跡が起こりました。意識不明だった私が目を覚ましたのです。私は直ちに一般病室に移されて、その翌日退院できたのです。うつ病も完全になくなりました。ハレルヤ！

学生時代、私は堂会長イ・ジェロク牧師先生の「創世記講解」の説教に恵みを受けて、創造主の神様を伝える理科の先生になりたいという夢を持ちました。そして、堂会長先生の祈りで高い競争率を突破して今の高校の理科教師になるまで、楽ではない時も信仰によって勝ち抜くことができました。いつも価なしに下さる恵みに少しでも報わせていただこうと、私は2016年、主人と一緒に大学院で教育学を勉強しました。

こんなささやかな努力にも、神様は昨年一年を終える時点で祝福として報いてくださいました。小学校教師の主人、キム・ソンジン執事は教育政策関連分野の功労を認められ、私は科学英才教育および科学教授法で創意的な授業を開発した功労で、合わせて二つの教育長賞をいただいたのです。また、主人と一緒にヨンセ大学教育大学院で教育学修士学位も取得しました。

それだけでなく、家族が完全に福音化されて、家族全員が宣教会の働き人になる祝福もいただきました。愛なる神様に栄光をお帰しし、堂会長先生を見習って主の愛を伝える教師になりたいと切に祈っています。



「ソウル大声楽科合格、僕がしたことではありません」

ウ・ヒョミン兄弟(20歳、プサン万民聖潔教会)

僕は小さい時から眼病、手足口病、膿痂疹など流行性の病気にしょっちゅうかかっていたのですが、堂会長イ・ジェロク牧師先生の祈りでいやされる体験をしながら健康になりました。

高校2年生の時、神様が下さった万民賛美がとても好きで声楽を始めましたが、僕の力ではできなかったもので、レッスン前に堂会長先生のいやしの祈りを受けました。各種のコンクールに出て行く時も、堂会長先生に祈りを受けて神の力の込められたハンカチ(使徒19:11~12)を胸に抱いて舞台に立ちました。その結果、そうそうたる芸術高校の生徒たちが出場した大会でも、声楽を始めていくらいにもならない僕が続けて大きい賞をいただいて、たくさんの人を驚かせました。

神様は僕に信仰によって行軍すればソウル大学にも入れるという心を下さいました。他の人と違って、僕は小さい時から声楽を勉強したのではないので、ソウル大入試の準備は現実的に見ると甘くはなかったのです。でも、全知全能の神様により頼んで一生懸命に勉強しました。

ソウル大合格を確信できる堂会長先生の夢を何度も見たので、試験当日、僕は心が安らかでした。その後、合格者名簿に僕の名前を見た瞬間、「神様が全部なさったんだ！」という告白が自然に出て来ました。すべての感謝と栄光を神様にお帰しします。

「祈りを受けた後、粉碎骨折したかけらが元の位置に戻りました」

ソン・ソッキル長老(56歳、男性宣教会連合会長)

2016年6月18日、自転車に乗っていてひどいけがをしました。お医者さんは、右肩が脱臼して骨の一部が小さく割れている、骨片にピンを打ち込んで手術しなければならぬと言いました。とりあえずお医者さんたちは脱臼した肩を入れようと何回かやってみたのですが、失敗続きになると、私は携帯に保存してあった堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けました。

その後、お医者さんが肩を入れるとあっという間に入ったし、さらに驚いたことに、粉碎骨折したかけらが元の位置に戻って、手術する必要がなくなったのです。

7月3日、祈りの家から帰って来られた堂会長先生の祈りを受けた後は、すっとして安らかな感じがしたし、その日の夕方すぐにサポーターをはずして生活することができました。ハレルヤ！



祈りを受ける前

外傷により右肩の関節が脱臼、上腕骨大結節が粉碎骨折している



祈りを受けた後

粉碎骨折したかけらが手術したように元の位置に戻り、脱臼も整復されている。

3月支教会スケジュール

3月26日(日)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)	3月29日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 スンギル牧師)
3月26日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・マルコ牧師)	3月29日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤正明牧師)
3月26日(日)	大阪万民教会	リバイバル聖会(講師:金モニカ牧師)			

「モルドバでも聖潔の福音と神の力で変えられています」



アレクサンドル・タバヌ兄弟
(32歳、モルドバ)

「熱したフライパンで塩がはねるような苦しみを受けるとは…」2009年10月、ロシア語衛星放送、TBNロシアで聞いたイ・ジェロク牧師先生の「地獄」の説教は私に

大ショックと感動を与えました。当時、私は教会のバンド部でホルンの演奏と指揮者として活動していましたが、罪を犯しながら苦しい毎日を送っていたので、このメッセージは砂漠でオアシスに出会ったような喜びをくれました。

その後、万民中央教会のホームページ(manmin.org)、YouTube、インビクトリー(invictory.org)などで資料を探して読み、「十字架のことば」「信仰の量り」など、イ・ジェロク先生の説教を要約整理してとても恵みを受け、酒、タバコをやめて変えられ始めました。私の周りの友だちと牧会者にも持続的に万民の働きを伝えると、彼らもとても恵みを受けました。

急性肺性心で死にかけていた母が生き返り

2014年4月、私を含めた9人が「万民」の名によって集まって礼拝をささげ始めました。聖書のみことばを明快に解いて、神様のみこころのとおり生きていけるように導くまことの福音を、私たちは熱い心で伝え、人々は集まりました。そうしているうちに私の信仰が大いに成長するきっかけがありました。

その年の5月頃、母のタチアナ・タバヌ聖徒が急性肺性心(肺疾患が原因で心臓の右心室系の肥大、拡張を起こした状態で結局死に至る病気)で全身がむくんで木の皮のように固くなると、息をすることも難しくなったのです。お医者さんは「今後6週間以内に亡くなるだろうから、遺言を残してもらっておきなさい」と言いました。

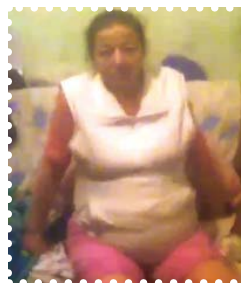
私は急いで韓国に祈りを願ひし、堂会長イ・ジェロク牧師先生は説教

後のいやしの祈りの時、母のために祈ってくださいました。驚いたことに二日目に母は全身のむくみがすっかり引いて、息をまともにすることができたのです。その後健康が回復して、今まで元気に過ごしています。ハレルヤ！

2014年10月からは聖殿を借りて、教会として必要なものを備えていきましました。現在は子どもを含めて70人余りの聖徒が聖潔の福音で変えられて、最も素晴らしい天国、新しいエルサレムに行くことを望みながら熱心に信仰生活をしています。

「万民」を慕って新しいエルサレムを望んでいるモルドバの聖徒たち

感謝なことに私たちは毎朝1時間、夕方2時間祈禱会をしていて、大礼拝は時差の関係でGCN放送の録画で、夕方礼拝と金曜徹夜礼拝は生放送で万民中央教会と一



緒にささげています。また、周りにイ・ジェロク先生の本と説教をもって伝道していて、他の都市にも聖潔の福音と神の力あるわざを伝えています。

2016年12月、私と三人の聖徒は夢に描いていた万民中央教会を訪問することになりました。ときめきと緊張でイ・ジェロク先生にお目にかかりましたが、その瞬間、私たちは感謝で涙が止まりませんでした。父のような慈しみ深さと温かい愛で私たちを喜んで迎えて祈ってくださいました。

教会と聖徒さんたちの暖かい愛と配慮のうちに感動的なクリスマスイブ公演と礼拝、各種の集まりと教会のあちこちを見て回りましたが、私は教会のリーダーとして感じていたプレッシャーがなくなって、牧者の愛を感じてとても幸せでした。創造主の神様とイエス・キリスト、聖書が真実であることを確かに伝えている聖潔の福音と神の力あるわざによっては、不可能がないからです。

今後、私はモルドバだけでなくルーマニアにも聖潔の福音を伝えて、多くの魂を救いの道に導きたいと思っています。尊いいのちの牧者に出会うようにしてくださった愛なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、いのちの道へと導いておられる堂会長先生にも感謝します。



「視力が良くなって耳石症もいやされました」



パク・ジュンシム勸士
(53歳、2大大12教区)

私は視力が0.6/0.4でメガネをかけなければならなかったのですが、耳の後ろに発疹ができて、メガネをかけられない不自由さを覚えていました。そのうち2016年、万民夏のキャンプを控えて、堂会長イ・ジェロク牧師先生が聖徒の視力回復を心に抱いたと言われて、私も切なる心で備えました。

8月8日、キャンプの初日、堂会長先生の祈りを受けた後、聖書を読むときに疲労感がなくなったし、チクチク、しょぼしょぼするものもなくなったのが感じられました。10月初め、視力を測ってもらった結果、両眼とも1.0で、良くなったことが確認できました。物がはっきり見えるのはもちろん、今は小さい字を見ても全く不自由を感じません。



10月末、突然めまいがすると、2週間経っても良くなりませんでした。後には胃までむかむかして食欲も落ちたし、体がだるくなって日常生活がしにくいほどめまいは続きました。

11月10日、正確な病名を知ろうと神経外科で超音波検査を受けたら「耳石症」と言われました。その翌日、私が所属している祈りの供え物連合会(神の国のために祈りて献身する機関)で、私のいやしのために熱く一緒に祈ってくださった後、体に力が湧いてきました。

完全にいやされようと、金曜徹夜礼拝の時、堂会長先生のいやしの祈りを受けると、すぐに視野が明るくなってめまいがなくなったのはもちろん、むかむかしていた胃も楽になりました。完全にいやされたのです。ハレルヤ！

11月14日、病院にもう一度行って「正常」と診断されました。いやして下さった父なる神様にすべての感謝と栄光をおささげし、祈ってくださった堂会長先生にも感謝します。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町5-775-15
T) 098-914-3027 FAX兼用
<http://www.osmanmin.com/>

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

・岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691

・イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472